

I. Books

- 入子文子 (編著) 『ホーソーン研究』6 ホーソーン研究会 (2019)
- 倉橋洋子・高尾直知・竹野富美子・城戸光世 (編著) 『繋がり の 詩学——近代アメリカの知的独立と〈知のコミュニティ〉の形成』彩流社 (2019)
- 高山宏・巽孝之 (著) 『マニエリスム談義——驚異の大陸をめぐる超英米文学史』彩流社 (2018)
- 中西佳世子・林以知郎 (編著) 『海洋国家アメリカの文学的想像力——海軍言説とアンテベラムの作家たち』開文社 (2018)
- Tatsumi, Takayuki. *Young Americans in Literature: The Post-Romantic Turn in the Age of Poe, Hawthorne and Melville*. Sairyusha (2018)
- Wakana, Maya Higashi. *Performing Intimacies with Hawthorne, Austen, Wharton, and George Eliot: A Microsocial Approach*. Palgrave Macmillan (2018)

II. Translations

- 石月正伸・高島真理子・古宮照雄・谷岡朗・鈴木孝・安田比呂志 (訳) デイヴィッド・パンター著『恐怖の文学——その社会的・心理的考察 1765年から1872年までの英米ゴシック文学の歴史』松柏社 (2016)
- 大場 厚志・古宮 照雄・鈴木 孝・谷岡 朗・中村 栄造 (訳) デヴェンドラ・P・ヴァーマ著『ゴシックの炎：イギリスにおけるゴシック小説の歴史——その起源、開花、崩壊と影響の残滓』松柏社 (2018)
- 水野尚之 (訳) ヘンリー・ジェイムズ著『ガイ・ドンヴィル』大阪教育図書 (2018)

III. Articles

- 生田和也「ドナテロとジュリア・パストラーナ——『大理石の牧神』におけるノンデスクリプトの表象」『フォーラム』24 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2019) pp. 37-56.
- 井上久夫「“The Artist of the Beautiful”におけるOwen Warlandの変身の謎—何がOwenを変身させたのか?—」『関西学院大学教育学論究』10 (2018) pp. 7-14.
- 入子文子「研究ノート Hawthorneとイエズス会」『ホーソーン研究』6 pp. 30-48.
- 植村真未「研究ノート *Fanshawe*を探して—Austerの描く隠遁する原稿」『ホーソーン研究』6 pp. 49-56.
- 大野瀬津子「実用性の彼岸：1820年代の大学論争と*Fanshawe*」『英語英文学研究』63 広島大学英文学会 (2019) pp. 35-47.
- 大野美砂「ホーソーンが編集した二つの航海記の海軍言説と『緋文字』」『海洋国家アメリカの文学的想像力——海軍言説とアンテベラムの作家たち』pp. 133-57.
- 尾崎裕子「ナサニエル・ホーソーンの「死者の妻たち」を読む：その主題を求めて (中原章雄先生 追悼)」『立命館英米文学』27 立命館大学英米文学会 (2018) pp. 58-75.
- 川下剛「ナサニエル・ホーソーンとミンストレルの語り——『ストーリー・テラー』における旅芸人の笑い」『フォーラム』24 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2019) pp. 1-16.
- 木村信一「ナサニエル・ホーソーンとフェティッシュ」『藤女子大学文学部紀要』55 藤女子大学 (2018) pp. 21-38.
- 倉橋洋子「ホーソーンと『懐かしの故国』のピアスへの献辞——サタデー・クラブを中心に」『繋がり の 詩学——近代アメリカの知的独立と〈知のコミュニティ〉の形成』pp. 121-41.
- 栗山裕也「Hawthorneの*Fanshawe*における釣り師の記念碑」『ホーソーン研究』6 pp. 1-9.
- 小南悠「すりかえられた愛とジョージアナの涙：「痣」を読む」『英米文学』62 関西学院大学 (2018) pp. 1-16.
- 常光健「『七破風の屋敷』に潜むアンテベラムアメリカの「インディアン問題」」『フォーラム』24 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2019) pp. 17-35.
- 中谷ひとみ「哄笑には哄笑をという戦略と、笑いが可能にする内なる他者との対話——ホーソーンの短編と現代日本小説の比較を通して」『文化共生学研究』18 岡山大学大学院社会文化科学研究科 (2019) pp. 27-51.
- 中西佳世子「ホーソーンとペリーが共有した海軍言説——イマジネーションと現実の接点」『海洋国家アメリカの文学的想像力——海軍言説とアンテベラムの作家たち』pp. 159-84.
- 西光希翔「芸術家のジレンマ：理想と現実の“The Artist of the Beautiful”」『英米文学』62 関西学院大学 (2018) pp. 17-34.

- 橋本安央「メルヴィルとシェイクスピア、あるいは幻の文学共同体——「ホーソンと彼の苔」のころ」『繋がり
の詩学——近代アメリカの知的独立と〈知のコミュニティ〉の形成』 pp. 233-49.
- 福岡和子「メルヴィルとホーソンを巡る事前検閲と自己検閲」『関西アメリカ文学』 55 日本アメリカ文学会関西
支部 (2018) pp. 53-69.
- 山本茂一 「Hawthorne の *Fanshawe* におけるエピグラフの考察」『ホーソン研究』 6 pp. 10-29.

V. Reviews

- 伊藤詔子『メルヴィル文学に潜む先住民——復讐の連鎖か福音か』(大島由起子 著)『アメリカ文学研究』 55 日本ア
メリカ文学会 (2019) pp. 56-62.
- 上原正博『痕跡と祈り——メルヴィルの小説世界』(橋本安央 著)『フォーラム』 24 日本ナサニエル・ホーソン協
会 (2019) pp. 73-80.
- 大野美砂 *The Cambridge Companion to the Literature of the American Renaissance* (Christopher N. Phillips
ed.)『フォーラム』 24 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2019) pp. 87-95.
- 小倉いずみ『エマソン——自己から世界へ』(堀内正規 著)『アメリカ文学研究』 55 日本アメリカ文学会 (2019) pp.
98-105.
- 佐々木英哲『ホーソンのプロヴィデンス——芸術思想と長編創作の技法』(中西佳世子 著)『フォーラム』 24 日本
ナサニエル・ホーソン協会 (2019) pp. 65-72.
- 高尾直知『痕跡と祈り——メルヴィルの小説世界』(橋本安央 著)『アメリカ文学研究』 55 日本アメリカ文学会
(2019) pp. 106-112.
- 高橋愛『海洋国家アメリカの文学的想像力——海軍言説とアンテベラムの作家たち』(中西佳世子・林以知郎 編著)
『フォーラム』 24 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2019) pp. 81-85.
- 高橋勤 *Thoreau in the 21st Century: Perspectives from Japan* (Horiuchi Masaki ed.)『アメリカ文学研究』 55 日
本アメリカ文学会 (2019) pp. 119-20.
- 巽孝之『ディズナル・スワンプのアメリカン・ルネサンス——ポーとダークキャノン』(伊藤詔子 著)『アメリカ文
学研究』 55 日本アメリカ文学会 (2019) pp. 62-68.
- 成田雅彦『ディズナル・スワンプのアメリカン・ルネサンス——ポーとダークキャノン』(伊藤詔子 著)『フォーラ
ム』 24 日本ナサニエル・ホーソン協会 (2019) pp. 57-64.
- 西谷拓哉『ホーソンのプロヴィデンス——芸術思想と長編創作の技法』(中西佳世子 著)『アメリカ文学研究』 55 日
本アメリカ文学会 (2019) pp. 123-24.
- 結城正美『エコクリティシズムの波を超えて——人新世の地球を生きる』(塩田弘・松永京子・浅井千晶・伊藤詔子・
大野美砂・藤江啓子 編著、上岡克己 編)『アメリカ文学研究』 55 日本アメリカ文学会 (2019) pp. 116-17.
- 渡邊真由美『アレゴリーで読むアメリカ／文学——ジェンダーとゴシックの修辞学』(武田悠一 著)『アメリカ文学
研究』 55 日本アメリカ文学会 (2019) pp. 122-23.

VI. Essays & Miscellanies

- 青井格「九州支部研究会」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 11.
- 上原正博・藤村希「国際渉外室だより」協会ホームページ
- 倉橋洋子「中部支部研究会」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) pp. 10-11.
- 齋藤幸子「師岡愛子先生を偲んで」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) pp.17.
- 佐々木英哲「萩原力先生を偲んで」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) pp.16.
- 鈴木孝「東京支部研究会」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 10.
- 「事務局だより」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 12.
- 高尾直知「編集室だより」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 13.
- 高橋利明「会長挨拶」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 1.
- 田島優子「資料室だより」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 13.
- 成田雅彦「国際ポー・ホーソン会議報告」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 2-3.
- 「萩原先生との日々」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) p. 16.
- 西谷拓哉「関西支部研究会」『NHSJ Newsletter』 37 (2019) pp. 11.
- Hughes, Sandra, and Masahiko Narita. "International Poe and Hawthorne Conference."『NHSJ Newsletter』
37 (2019) p. 4-9.

※論文の記載漏れなどお気づきの点がございましたら資料室担当者までお知らせください。また、論文などを執筆
された際には資料室に一部お送りいただくか、あるいはタイトルなどを資料室担当者までお知らせください。